

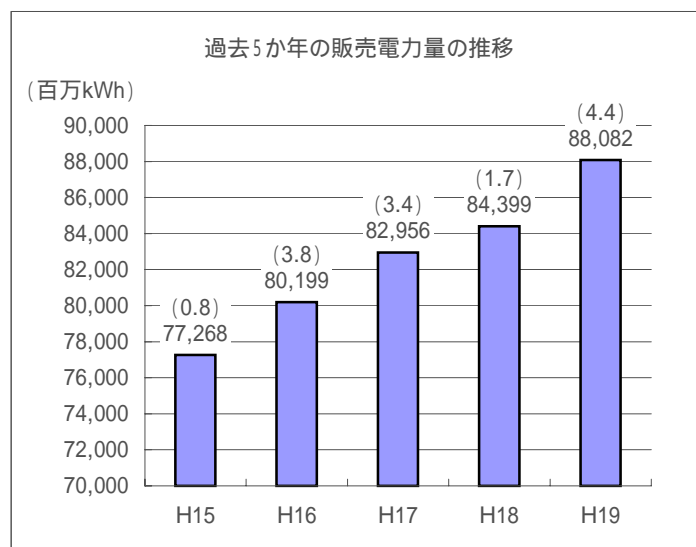
## 平成19年度 販売電力量

### 1 概況

平成19年度の販売電力量は、880億82百万kWhとなり、前年に対し+4.4%となりました。

( 昭和62年度以降、21年連続で前年を上回り、過去最高。 )

		実績	対前年 伸び率
特定規模 需要以外 の需要	電 灯	29,550	4.8
	電 力		
	低 圧	5,163	2.3
	そ の 他	957	4.0
	電灯電力計	35,670	4.1
特定規模 需要	業 務 用	20,428	3.7
	産 業 用	31,984	5.0
	特定規模需要計	52,412	4.5
販売電力量合計		88,082	4.4
再 掲	一 般 需 要	62,873	3.6
	大 口 電 力	25,209	6.4



( )は対前年伸び率

	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
一般需要	0.2	16.5	1.2	3.8	3.5	6.0	12.4	7.1	3.6
大口電力	7.9	9.1	4.1	2.0	3.0	7.9	3.5	4.9	6.4
合計	2.3	14.3	2.1	3.3	3.3	6.5	9.7	6.5	4.4

	H15	H16	H17	H18	H19
一般需要	0.7	4.1	3.0	0.1	3.6
大口電力	1.3	3.1	4.6	6.8	6.4
合計	0.8	3.8	3.4	1.7	4.4

### 2 用途別実績

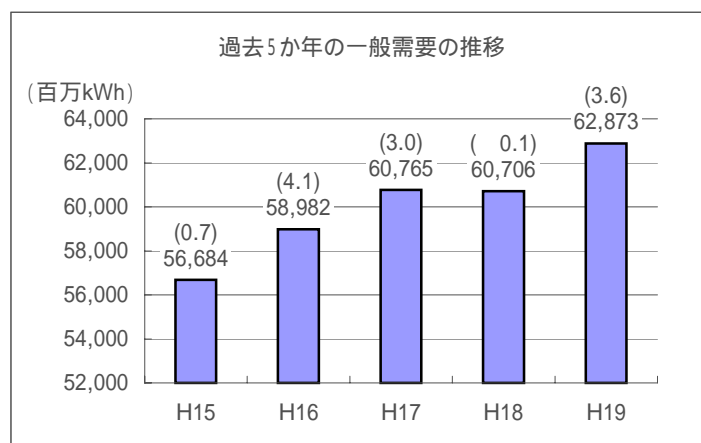
(1) 一般需要(販売電力量合計から大口電力を除いたもの)

厳しい残暑及び前年度の暖冬の反動による冷暖房需要の増加や、オール電化住宅の増加、商業施設の新規出店などから、前年に対し+3.6%となりました。

( 2年ぶりに前年を上回り、過去最高。 )

平均気温(九州) ( )

	実績	平年差	前年差
4月	15.1	0.1	0.2
5月	20.3	1.0	0.5
6月	23.8	1.0	0.3
7月	26.6	0.3	1.0
8月	29.0	1.5	0.2
9月	27.1	3.0	3.1
10月	21.2	2.3	0.2
11月	14.1	0.5	1.1
12月	10.0	1.3	0.3
1月	7.7	1.2	0.1
2月	6.3	0.9	3.7
3月	11.2	0.9	0.4



( )は対前年伸び率

(2) 大口電力需要

輸送用機械や鉄鋼、化学などで生産が堅調に推移したことや、原油価格の高騰を受け、自家発電から当社買電への切替えがあったことなどから、前年に対し +6.4%となりました。

( 平成14年度以降、6年連続で前年を上回り、過去最高。 )

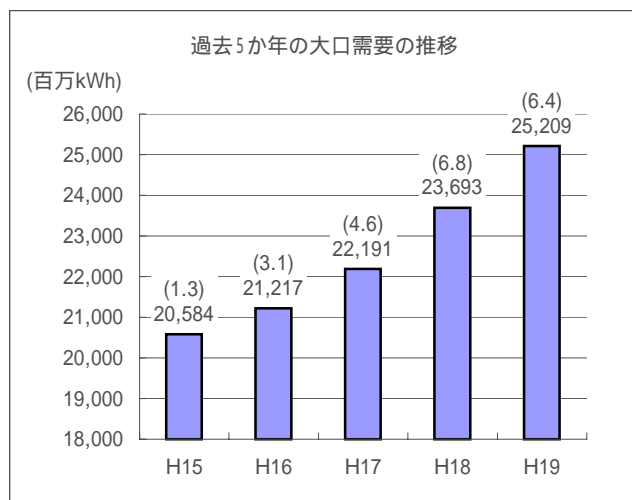
(百万kWh, %)

	実績	対前年 伸び率	構成比	特 徴
機 械 計	7,749	5.8	30.7	
電気機械	5,682	2.7	22.5	一部工場におけるデジタル家電向け電子部品の生産増など
輸送用機械	1,485	17.3	5.9	生産増や一部工場の自家発電動減など
鉄 鋼	3,089	8.7	12.3	生産増や一部工場の自家発電動減など
化 学	2,609	10.9	10.4	生産増など
窯 業 土 石	1,234	7.3	4.9	一部工場の自家発電動増など
非 鉄 金 属	1,665	6.3	6.6	一部工場の新設や、一部工場のシリコンウエハー生産増など
大 口 電 力	25,209	6.4	100.0	

(注)その他があるため、各項目の合計は大口電力合計と一致しない。

至近5期大口電力主要業種別対前年同期伸び率 (%)

	H17		H18		H19	
	下	上	下	上	下	
機 械 計	5.5	6.6	6.2	6.5	5.2	
電気機械	4.0	5.1	4.2	3.6	1.8	
輸送用機械	9.7	12.2	12.0	15.8	18.7	
鉄 鋼	2.4	5.9	16.7	14.1	3.9	
化 学	14.3	15.4	7.6	10.5	11.3	
窯 業 土 石	7.4	14.0	11.9	0.6	13.1	
非 鉄 金 属	10.8	9.8	7.2	4.1	8.6	
大 口 電 力	6.3	6.1	7.4	7.9	4.9	

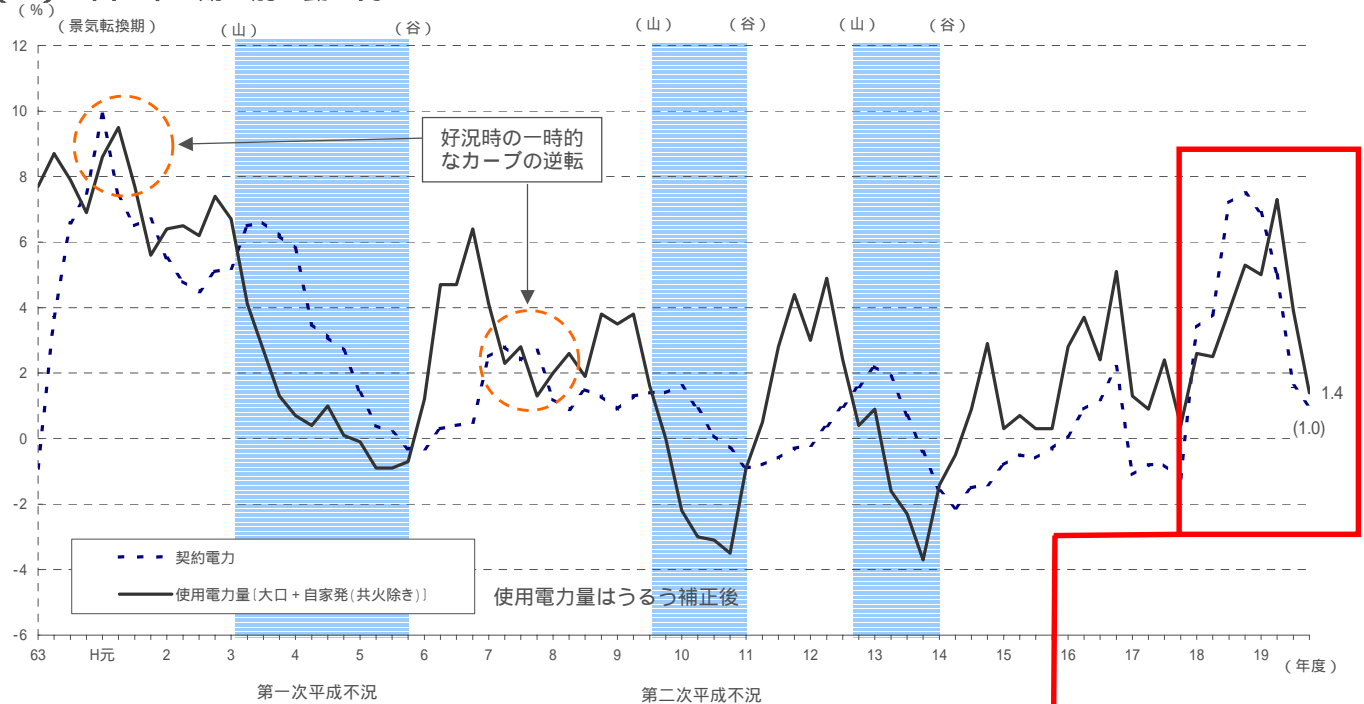


( )は対前年伸び率

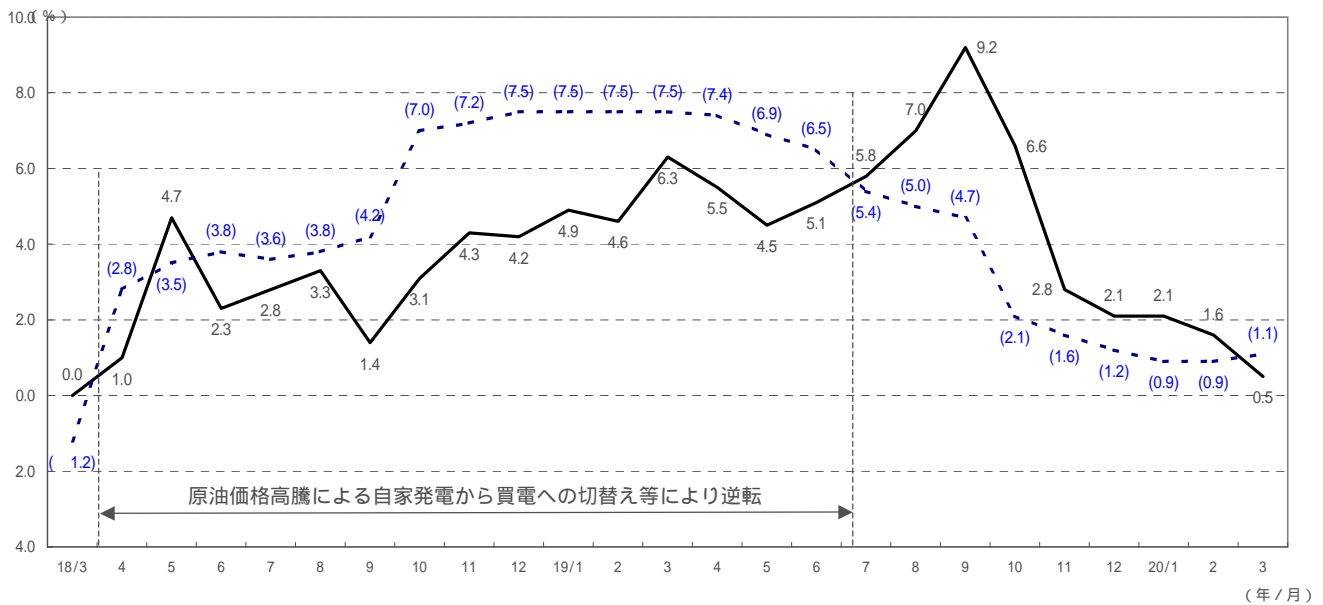
以 上

## 大口電力の契約電力と使用電力量の推移（大口カーブ）

### (1) 四半期別動向



### (2) 月別動向



### 大口カーブについて

景気動向の物差しの一つとしている大口カーブについては、9か月ぶりに使用電力量の伸びが契約電力の伸びを下回りました。

しかしながら、使用電力量の伸びが契約電力の伸びを一時的に下回るケースは、過去の好況期においても起こっていることから、今回の逆転現象が景気動向の変化を示すものなのか、今後の動向を注視していきます。

## < 大口カーブの諸元 >

上段：大口契約電力対前年同期比（％）

下段：大口販売電力量 + 自家発電使用電力量(共火除き：うるう補正後)の対前年同期比（％）

(四半期)

	63				元				2			
契約電力	0.9	3.7	6.6	7.5	9.9	7.4	6.5	6.7	5.5	4.8	4.5	5.1
使用電力量	7.7	8.7	7.9	6.9	8.6	9.5	7.7	5.6	6.4	6.5	6.2	7.4

← 第一次平成不況 →

	3				4				5			
契約電力	5.2	6.5	6.6	6.2	5.8	3.5	3.1	2.7	1.4	0.4	0.2	0.3
使用電力量	6.7	4.1	2.7	1.3	0.7	0.4	1.0	0.1	0.1	0.9	0.9	0.7

	6				7				8			
契約電力	0.3	0.3	0.4	0.5	2.5	2.8	2.4	2.7	1.2	0.9	1.5	1.3
使用電力量	1.2	4.7	4.7	6.4	4.1	2.3	2.8	1.3	2.0	2.6	1.9	3.8

← 第二次平成不況 →

	9				10				11			
契約電力	0.9	1.3	1.4	1.4	1.6	0.9	0.1	0.3	0.9	0.8	0.6	0.3
使用電力量	3.5	3.8	1.6	0.0	2.2	3.0	3.1	3.5	0.9	0.5	2.8	4.4

	12				13				14			
契約電力	0.2	0.4	1.0	1.6	2.2	1.9	0.7	0.4	1.6	2.1	1.5	1.4
使用電力量	3.0	4.9	2.4	0.4	0.9	1.6	2.3	3.7	1.4	0.5	0.9	2.9

	15				16				17			
契約電力	0.8	0.5	0.6	0.3	0.1	0.9	1.2	2.2	1.1	0.8	0.8	1.2
使用電力量	0.3	0.7	0.3	0.3	2.8	3.7	2.4	5.1	1.3	0.9	2.4	0.4

うるう補正前<1.1>

うるう補正前<4.3>

	18				19							
契約電力	3.4	3.8	7.2	7.5	6.9	5.0	1.6	1.0				
使用電力量	2.6	2.5	3.9	5.3	5.0	7.3	3.9	1.4				

うるう補正前<2.5>

(月別)

	16/4	5	6	7	8	9	10	11	12	17/1	2	3
契約電力	0.0	0.0	0.2	0.7	1.0	1.0	1.0	1.2	1.5	1.9	2.3	2.5
使用電力量	0.7	3.2	4.3	5.2	4.6	1.3	2.1	2.6	2.6	3.5	5.6	6.2

うるう補正前<3.1>

	17/4	5	6	7	8	9	10	11	12	18/1	2	3
契約電力	1.0	1.2	1.0	0.8	0.8	0.7	0.7	0.8	0.9	1.0	1.3	1.2
使用電力量	3.8	0.9	1.0	0.7	0.5	2.9	2.1	1.7	3.4	1.0	0.4	0.0

	18/4	5	6	7	8	9	10	11	12	19/1	2	3
契約電力	2.8	3.5	3.8	3.6	3.8	4.2	7.0	7.2	7.5	7.5	7.5	7.5
使用電力量	1.0	4.7	2.3	2.8	3.3	1.4	3.1	4.3	4.2	4.9	4.6	6.3

	19/4	5	6	7	8	9	10	11	12	20/1	2	3
契約電力	7.4	6.9	6.5	5.4	5.0	4.7	2.1	1.6	1.2	0.9	0.9	1.1
使用電力量	5.5	4.5	5.1	5.8	7.0	9.2	6.6	2.8	2.1	2.1	1.6	0.5

うるう補正前<5.3>